

無尾目（カエル目）アカガエル科

ナガレタゴガエル

Rana sakurai Matsui et Matsui, 1990

【選定理由】

生息地が局限しているが、十分な情報を得ていないため。県内初記録からこれまでの間の発見個体数が少数であることを考慮した。

【概要】

成体は後肢の水かきの発達が著しい。全長は63mmに達する。溪流近傍の冷涼多湿な林床に隠遁し、土壌動物を捕食する。繁殖期は早春から春暖季までの間で、渓流水中の岩石下に産卵する。繁殖期とその前後に亘っては皮膚が著しくのびて皺状に弛み、雄の前肢第1趾には一塊の婚姻瘤が生じる。卵塊は球を圧した形状である。卵は

島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：－

環境省：－

写真 口絵7

径が大きくて卵黄に富む。水中で卵黄を消費する幼生期間は黒色素が少ないほか、口器が大きくて尾が長い。日本固有種で関東地方以西の本州に分布する。

【県内での生息地域・生息環境】

県西部の一部で、標高700m以上の山地帯に生息する。当地の環境は、天然林と人工林から成る森林に覆われた谷間で清冽な流水を有する。

【存続を脅かす原因】

捕獲・採取圧および森林皆伐。

両生類・爬虫類

絶滅
野生絶滅

絶滅
危惧Ⅰ類

絶滅
危惧Ⅱ類

準絶滅
危惧

情報不足

